



三重県議会議員 小林 正人

これでいいのか!

県民失望の議員定数6増(45名から51名に)

来春の県議選から45となるはずだった議員定数を51に戻す条例案が本会議で賛成23、反対22、退席(議決責任放棄)2の賛成多数で可決されました。三重県議会は平成26年5月に定数を45に削減する条例(平成31年度施行)を可決しましたが、今回の条例改正により、結局一度も選挙をすることなく再び定数51で平成31年度選挙をすることが濃厚となりました。**(定数増勢力は民進系最大会派の新政みえ)**議員定数に関しては、平成27年度国勢調査では1票の格差は2.93倍であったのが定数を6減することによって1.66倍まで改善されました。しかし今回の定数増の改正により平成30年度では格差が更にひろがり3.08倍となり、このことは国政であれば、おおよそ違憲であります。更に、定数を6名増にすれば県財政に与える影響も大きく、県債残高7885億円、臨時財政対策債を合わせると約1兆4千億円ということや、信号機や横断歩道一つ整備するのに予算が足りないということを考えると、**今回の改正はまさに県民の期待を裏切ると同時に、前回の減条例の議決責任を果たしていないということになります。**

まだあきらめない!

私をはじめ、今回定数6増の条例に反対した議員(超党派)で再度45定数に戻すべくプロジェクトチームを結成いたしました。条例改正後でも県民の方から定数を減らす為の請願やご意見もたくさんいただきます。今後、県民の信頼回復、前回の議決責任を果たすという意味でも、最高裁判例等参考に参考人招致、委員会審議等できる限りの場で定数減に向けた取り組みをおこなっていく所存であります。(平成12年に四日市、鈴鹿、津、松阪選挙区で4減されており、次は南部地域で基礎自治体が活性化され、高速道路等インフラ整備が完了後、都市部同様削減することと申し合わせ等されていましたが、既に18年が経過。)



定数6増(51名)条例賛否

6増51賛成23

自民党		
村林 聡	山本 教和	西場 信行
中川 正美		
新政みえ		
芳野 正英	廣 耕太郎	田中 智也
藤根 正典	小島 智子	濱井 初男
吉川 新	津村 衛	杉本 熊野
藤田 宜三	後藤 健一	日沖 正信
前田 剛志	三谷 哲央	中村 進一
共産党		草の根運動いが
山本 里香	岡野 恵美	稲森 稔尚
青峰		
野村 保夫		

退席2

新政みえ	鷹山
下野 幸助	東 豊

6増51反対22

自民党		
田中 祐治	木津 直樹	野口 正
石田 成生	小林 正人	服部 富男
津田 健児	中嶋 年規	青木 謙順
中森 博文	前野 和美	水谷 隆
山本 勝		
新政みえ		
中瀬古 初美	彦坂 公之	舘 直人
鷹山		
大久保 孝栄	奥野 英介	
公明党		能動
山内 道明	今井 智広	長田 隆尚
大志		
倉本 崇弘		

※鈴鹿市選挙区議員は青色



障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例策定 (施行期日 平成 30年10月1日)



「障がい者差別解消調査特別委員会最終日」

副委員長として、約1年間23回の委員会で取組んでまいりました。関連する法令の研究とともに、現行法制度の課題や障がい者を取巻く現状等について、県当局、有識者や障がい者団体から聞き取り調査を行いました。その後県外、県内調査を実施し、類似の条例を制定している他県の状況や課題等について聞き取り調査を行うとともに、県内の事業者、市町、関係団体から県内における障がい者差別の解消に向けた取り組みや課題等について、聞き取り調査を行いました。また、調査の過程において、障がい者が地域において自立し、社会参加することについて不安を抱えている現状も明らかになったことから条例の方向性としては、障がい者差別の解消のみならず、自立や社会参加の支援なども含めた共生社会の実現を目指すものと、することとしました。

裏面も是非お読みください。



①福祉医療費助成制度について

Question 三重県の精神障がい者に対する受給要件ですが、現状は1級手帳保持者(通院のみ)となっているが、県内市町では単独で補助を追加し出しているところもあり、例えば1級の入院も可能にする、2級手帳保持者の通院分も可能にする等、受給要件の緩和を考えてはどうか? ▶▶ **答弁者:医療保険部長**

②児童虐待防止に向けた取組みについて

Question 県内の児童虐待の相談件数は、平成24年度約1000件だったものが、29年度は約1650件とかなり増加傾向にあります。特に北勢児相管内では24年度402件だったものが29年度は968件と2倍以上になっている。このため平成31年4月に北勢児相から鈴鹿地区を担当する課を独立させて、県の鈴鹿庁舎内に鈴鹿児童相談所を設置していただくと聞いています。その際地域の虐待問題に少しでも迅速に対応、判断できるノウハウをもった人材が必要であると思うが、市や関係機関と連携して一人でも多くの人材育成に取り組んではどうか? ▶▶ **答弁者:こども福祉部長**

③部活動指導員配置について

Question 昨年4月に学校教育法施行規則の一部改正により、部活動指導員を学校現場に配置することが可能になりました。このことは学校において、スポーツ、文化、科学等に関する教育活動に係る技術的な指導に従事する部活動指導員が現場に配置されることで、運動部活動の指導体制の充実や生徒の健全な発達、専門性を有する指導者を確保できた場合は勿論競技力の向上にもつながります。また、そのことによって、教職員の過労ということが昨今言われておりますが、勤務状況の改善にもつながると考えます。以上のことから部活動指導員を適切に配置することは非常に有効だと思いますが、県教育委員会としての考え方は? ▶▶ **答弁者:教育長**

知事、執行部答弁内容につきましては三重県議会 6月15日の中継録画からアクセスできます。宜しくお願いたします。



三重県議会中継

検索

QRコードからも
アクセス可能



④キャリア教育の推進について

Question 今、子供達にとって必要なことは、とどまることなく変化する社会の中で、希望を持って自立的に自分の将来を切り開いて生きていく力、変化に対応できる力と態度をはぐむことが重要であり、そのためにはキャリア教育というものをもっと推進していく必要性があると考えます。また、中央教育審議会におけるキャリア教育の定義を確認しても、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育となっております。平成30年度はキャリア教育の推進に係る事業費がかなり減額されておりますがその理由、また小中学校における目標値のあり方、更には次年度以降どのように取組まれていくのか、ご所見をお聞かせいたします。▶▶ **答弁者:教育長**

⑤三重交通Gスポーツの杜鈴鹿について

Question 交通アクセスの問題ですが、現状は駐車場が足りない、また公共交通としては、伊勢線徳田駅が最も近い駅だが、そこから施設までは約5キロあり、徒歩でも約30分かかります。コミュニティバスを利用することもできますが、1時間に1本と便数も少なく、バス停もスポーツの杜鈴鹿口と施設から遠く、風雨よけ、待合室もない状態です。施設利用者、また集客ということを考えても駐車場の確保、バスの便数を増やす、バス停の施設内への移転もしくは改修、この3点は必要だと考えますがご所見をお聞かせいたします。▶▶ **答弁者:知事 / 地域連携部 全国障害者スポーツ大会局長**



⑥建設産業の担い手育成について

Question 地域の建設業は、県民の皆さんに必要な不可欠な社会資本の整備、維持修繕はもとより、災害時の安心安全の確保や地域の雇用の創出など重要な役割を担っております。しかしながら、昨今就業者の高齢化(50歳以上が全体の46.4%)、若年就業者の減少(15歳から29歳までが10.2%)・新卒就業者の離職率は3年以内で約50%)が進行し、このままではこれまで担っていただいていたことも難しくなるのではと懸念いたします。今後の入職促進や離職対策の取組み等どのように考えられていかれるのか、ご所見をお聞かせいたします。▶▶ **答弁者:県土整備部長**



平成30年度

当初予算鈴鹿建設事務所事業実施箇所

鈴鹿市のみ
(一部抜粋)

道路・河川等の整備は県民の利便性のみならず、日常の安全・安心にも大きくつながりますので引き続き予算確保に取り組めます。

路河川名	大字等	事業概要	事業費 (単位:千円)	評価種別
一般国道306号(伊船バイパス)	長澤町~追分町	道路改良	87,150	継続
一般国道306号(椿一宮)	山本町~椿一宮町	道路改良	44,100	継続
主要地方道 鈴鹿環状線 (磯山バイパスⅡ期)	徳田町~五祝町	道路改良	70,733	継続
主要地方道 鈴鹿環状線 (国府バイパスⅠ期)	平野町~国府町	道路改良	17,467	継続
主要地方道 神戸長沢線 (定五郎橋周辺)	弓削町	道路改良	5,137	-
主要地方道 神戸長沢線(Ⅱ期)	伊船町~長澤町	道路改良	7,192	継続
主要地方道 神戸長沢線(Ⅰ期)	三畑町~伊船町	道路改良	10,275	継続
主要地方道 亀山鈴鹿線(鈴国橋)	和田町~国府町	橋梁耐震対策	31,500	-
主要地方道 四日市鈴鹿環状線 (木田小橋)	木田町	橋梁耐震対策	4,110	-
一級河川 芥川	加佐登町~庄野町	河川改修	69,000	継続
二級河川 堀切川	寺家町	河川改修	31,500	継続
二級河川 田古知川	岸岡町	河川改修	9,240	継続
千代崎港海岸	南若松	離岸堤工	83,700	継続
総事業費合計			2,527,862 千円	

